北斗通信

（令和６年11月号）

１. 埼玉県　令和７年３月中学卒業予定者の進路希望状況　１
　資料①　埼玉県　１０月１日付進路希望調査の概要　６
　資料②　埼玉県　私立高校の希望状況　７
２. 埼玉県　令和９年度公立入試の実施要項・選抜要領発表　２
　資料③　令和９年度公立高校の実施要項から　９
３. 東京都　令和６年３月公立小学校卒業生の進路状況から　３
　資料⑤　東京都　公立小学校卒業生の進路状況の推移　11
４. 東京都　都立高校　令和７年度募集定員発表　４
　資料④　東京都　都立高校令和７年度募集定員　13
５. その他の話題　５
　・埼玉県私学審議会から　５
　・千葉県公立高校の出願は全校 WEB に　５

会員限定情報「北斗通信」
令和６年 11 月 12 日
岩佐教育研究所
TEL048-688-4698
FAX048-675-0219
E - mail　shohokuto@gol.com

無断転載を禁じます。

１．埼玉県　令和７年３月中学卒業予定者の進路希望状況（10 月 1 日現在）より

資料①　埼玉県　令和７年３月中学校卒業予定者の１０月１日の進路希望調査の概要
資料②　埼玉県私立高校希望状況　過年度比較

埼玉県教育局は，令和7年3月中学校卒業予定者の進路希望状況調査(10 月1日現在)を発表した。

県内中学校卒業予定者（国公私立合計6万 2531 人，前年より 183 人の減少，特別支援校中学部 625 人を含む）のうち高等学校進学希望者が全体の 97.2%(前年 96.6%)を占める。

全日制進学希望者は 55,293 で前年より 185 人減少した。また，このうち県内公立希望者は 74.7%(前年比 0.3%減)，県内私立が 18.2%(同 0.4%増)，県外私立が 5.8%(前年同値)などとなっており，県内私立希望者，通信制希望者(377 人)が増加し，公立希望者が減となっていた。進学希望校未定者は 1,125 人で前年より 377 人減少していた。

定時制課程は 797 人で 24 人減少，通信制は 3,285 人で 377 人増加した。

公立希望者の学科ごとの倍率では，普通科 1.28 倍，専門学科 0.85 倍，総合学科 0.93 倍となり，普通科は前年より 0.01 倍上昇し、専門学科が 0.05 倍下降し，総合学科は 0.08 倍下降していた。

普通科で希望者が定員の2倍を超える学校は，昨年より 1 校減り 7 校だった。上位は、市立川越 3.56 倍，川口市立 3.21 倍，市立浦和 2.78 倍，上尾 2.49 倍，越谷南 2.33 倍，浦和南 2.27 倍，浦和西 2.13 倍などとなっていた。

一方，普通科で定員に足りない科・コースが 44 校・コース出現し，受験生の二極化傾向は顕著になっている。特にコースで定員を満たしていた学校は，川口市立・スポーツ科学コースだけとなっていた。

県内私立高校では，附属中学を持つ学

校の志望者が多く見える傾向があるが，これは，調査に私立中学校在籍者を含むためだ。また，第一志望調査のため，併願志願者は含まれない。

私立中学の卒業予定者は 31 校で 10 人減少し 3,149 人となっている。

各校の男女別の志願状況は資料②として掲載しているが，附属中学校の卒業予定者の 10 人の減少に対して，前年から 200 人の増加となっていた。

また，東京都私学への希望者は，2,357 人で前年より 12 人減少していた。

1　県外国立全日制高等学校

区　分	進学希望者			前年同期希望者数
	男	女	計	
東京都	55	72	127	117
その他	－	－	－	2
合　　計	55	72	127	119

2　県外公立全日制高等学校

区　分	進学希望者			前年同期希望者数
	男	女	計	
東京都	36	36	72	36
千葉県	36	97	133	160
群馬県	17	17	34	39
茨城県	10	3	13	20
栃木県	4	2	6	8
その他	77	42	119	115
合　　計	180	197	377	378

3　県外私立全日制高等学校

区　分	進学希望者			前年同期希望者数
	男	女	計	
東京都	1, 117	1, 240	2, 357	2, 369
千葉県	83	57	140	135
群馬県	62	50	112	105
茨城県	31	19	50	62
栃木県	99	40	139	123
その他	326	106	432	415
合　計	1, 718	1, 512	3, 230	3, 209

県内私立高校では，卒業予定者が前年より 10 人減少し昨年並みとなりました。

県内私学希望者は 200 人増加し，都内私学希望者は前年同期の 2,369 人から 2,357 人と 12 人減少しています。一方，千葉県は 5 人増加，群馬県が 7 人増加，栃木県が 16 人増加しています。コロナ禍が明けて，私学の活性化が徐々に表れてきました。

県ごとの私学助成金の制度の違いが，他県への進学を阻害している状況は相変わらと感じます。

大学入試改革の 8 期生・高等学校の学習指導要領の完成年度 4 期目の生徒たちの高校入試です。助成金の多寡よりも，問題意識を持って志望校選択して欲しいと思います。

2．　埼玉県　令和 9 年度公立高校の実施要項と選抜要領(暫定版)発表

資料③　埼玉県　令和 9 年度公立高校入試の実施要項・選抜要項から

埼玉県県教育局は、10 月 11 日，令和9年度の入試改善に向けて実施要項と選抜要項の暫定版を発表した。

9 月には，基本方針を発表しており，令和 9 年度の入試の実態がほぼ見えてきている。発表された実施要項･選抜要項では，入学者

選抜方法改善協議会の答申として発表された内容に沿うものとなっていた。答申では，1)選抜　2)調査書の様式　3)実施時期　がそれぞれ次のようになっていた。

1)　では，

①　受験生のこれまでの活動への取り組み状況を自らの言葉で表現する自己評価資料の提出を全受験生に求め，これを基に面接を実施する。自己評価資料は得点化しない。

②　各高校が，受け入れ方針に基づき特色選抜を実施することが出来る。方針・評価の観点・選抜資料の取り扱いについては，事前に公表する。

2)　では，中学校が作成する調査書では，記載項目は，1～3 年次の各教科の学習の記録(評定)を基本とする。これ以外については，自己評価資料で学校・学科ごとに３年間の活動などの記載を求めることが出来るようにする。

3)　では，新しい入試選抜は，令和９年度入試選抜から実施する。移行期間として８年度入試からとし，部活動等の実績の記入について見直し，各学校の選抜基準の扱いについても見直す。

などとしている。

中学校の部活動については，少子化や働き方改革の中で複数校での合同での実施や，クラブチームへの移植，地域への委託などの柔軟性が採られるようになってきており，実績や本人の活動状況は中学校では捉えられなくなってきている実態がある事。出欠席も保健室登校や施設登校が出席とされるなど，コロナ以降，中学校で把握できない状況となっていたことによる。

ただし，自己評価資料(ポートフォリオ)にどこまで中学校の教員が関われるのか，信頼性は担保されるのか，推薦入試での面接が形骸化されて，無くなっていった経緯の中で，意味のある復活ができうるのかといった疑問はさらに残る。

面接は、個人面接または集団面接とされ，9 次から開始となっています。従って，入試日程は 2 日に跨ることになります。

自己評価資料を基に面接を実施する際に，集団面接だと部活実績や学校活動の評価はしずらいことになると思いますし，個人面接でも公平性の担保は，やはり，難しいように感じられます。

また，教育局サイドの特色化選抜の具体的な内容としては，面接・実技検査・自己表現・小論文・作文などをイメージしているようです。

３．　東京都　令和６年３月　公立小学校卒業生の進路状況

資料④　都内公立小学校卒業生の進路状況の変化

東京都教育庁は，10 月 26 日に，令和 6 年 3 月公立小学校卒業生の進路状況をまとめ発表した。既に中学卒業生については，7月に速報として発表されているため割愛する。

公立小学校卒業生の進路状況では，一端のピークを迎えた昭和 59 年の卒業者数は 16 万 9532 人，この中で公立中･国立中に入学しなかった都内外私立中入学者は約 8.7%だった。

5年後の平成元年では，卒業者は 59 年の 75%に減少し，12 万 7956 人となったが，同私立中進学者は，13%の 1 万 6600 人に増加している。令和 6 年春では，卒業生は前年より 946

人減少し９万7572人となった。５年連続で増加後に減少に移行し始めたようだ。

都内国立中進学者が 415 人，都内私立中進学者は，在籍の 20.1％（前年 19.8％，一昨年19.4％）の１万33人となっていた。前年から49人増加している。

尚，都外中学進学者は2,215人，都立一貫校進学者は1,560人となっており，通常の区・市立中学への進学者は7万5103人で在籍の77.0％（前年77.8％）だった。

都内全域の私立中学志向は， 16.3％⇒15.9％⇒16.3％⇒17.0％⇒17.0％⇒18.0％⇒17.9％⇒18.4％⇒18.7％⇒19.4％⇒19.8％⇒20.1％と７年前から急速に増加してきました。

一時の減少は，東北の震災などの影響と考えられますが（通塾控えなど），令和3年度からの大学入試の改革や同年からの中学校の学習指導要領改訂などあり，私立に期待する受験層が広がってきていると考えられます。尚，この数字は都内私学への進学者で，都外私立への進学者は1700人前後と推計されます。

グローバル教育や探求型授業，ICT教育，IBなど先行した学校が脚光を浴びています。

国の政策に併せ，教育の改善をしていく学校が，従来のランキングを書き換えていくような気がします。

４．　東京都　都立高校令和７年度　募集人員から

資料⑤　東京都　都立高校令和７年度　募集人員

９月に都教育委員会の入試検討委員会の方針が発表された。この方針に基づき都立高校の入試の改善が実施されている。

・一昨年から出願方法は、推薦による選抜（以下推薦とする）及び分割前期（以下一般とする）では原則としてインターネッによる出願とする。その他出願に要する書類は郵送とする。

・東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の結果を活用し、英語４技能のうち「話すこと」の能力を見る。６年度の実施は11月24日となる。

・６年度から男女別定員制は、全廃となり、対象となる全校で推薦・一般とも男女合同選抜が実施される。

などの３点が前年に引き続きの留意点となる。

都内公立中学校の令和６年春の卒業予定数は、７万7809人となっており，前年と比較して216人減少する。（都内公立一貫校を含まず、公私連絡協議会資料より）

在籍は、増加したが、都立高校の全日制の７年度募集人員は167校で４万315人と前年より８学級320人減少した。

工業高校の再編により、六郷工科の旧来の５学科の募集停止とものづくり工学科の新設が発表された。

また、城東など３校で学級増が実施され、城東，駒場など11校で１学級減となる。

全日制で学科の改編が１校、募集学級の増減は14校に及ぶ。

募集の変更や定員の増減、更には男女合同選抜の実施等は、各校の入試倍率を変化させるだけでなく、競合する学校の受験動向にも影響する場合が多いようだ。

また、定時制課程では，学年制で立川の２学級60人が募集停止となり，単位制で立川緑180人が新設，砂川で30人の増となる。

学年制は35校で1,260人の募集となり、単位制で、210人増の3075人となる。

都内の公私間協定比率は，59.6対40.4で，変わっていませんが，計画進学率は，令和2年に95%に変更， 4年度は94%にし、6年度から93%としています。このため，卒業予定者は微減でしたが，都立は320人の定員減を実施しています。93%にした一番の理由は，通信制への進学者の急増のようです。

東京だけでなく、埼玉も千葉も同様の現象が起こっています。

少子化の中で，統廃合が相次いで，高校が減少していますが，統廃合を実施する学校は，募集困難校，問題行動の多い学校，進学率の低い学校などとなっており，その結果，低学力の生徒の進学先が狭められたということのように思えます。希望者の減少に伴い，各都県で公私間協定の比率が歪められています。

5. その他の話題

埼玉県　私学審議会から

埼玉県で11月6日に開催された私学審議会で県内私立中高の2件の諮問事項，1件の意見聴取事項が上げられそれぞれ計画承認された。諮問事項①武蔵野音楽大附属の募集定員が1学年60人から36人になる。同校は令和9年に東京への移転が予定されている。②本庄東高校附属中学の募集定員が1学年120人から90人に縮小される。意見聴取事項　本庄第一に埼玉・群馬に限る狭域の通信課程を開設する件

千葉県　公立高校の出願は全校WEBに

千葉県では，7年度公立高校入試から全校でインターネット出願に移行する。

6年度では千葉や船橋、柏など 15 校で実施したが、その結果を踏まえての移行と考えられる。定時制への出願も同様となるが、定時制の追加募集などは対象外となる。

閑話休題

埼玉県で10月1日付の来春の中学校卒業予定者の進路希望調査の概要が発表されました。

例年，「この時点での進路希望調査は，まだ私学の個別相談もこれからという時」となるため，各学校の人気動向程度の意味合いしかありませんが，全体動向としては，定員を減らした公立高校人気は，それなりに低調であること，通信制人気が継続していること，県内私学への希望者は増加傾向になっていることが目に付きました。

各都県で公私間協定比率が反故にされています。希望者が通信制に流れているということが大きな理由と思われますが，埼玉では，公立人気復権のために中高一貫を立ち上げろという声が県議団から上がっています。

埼玉県の令和9年度入試からの公立高校入試改革が見えてきました。将来的にはDX化(マークシート方式やディジタル採点)も視野に入れるとする入試選抜改善協議会の報告に基づくものですが，自己申告書を基にした面接の復活，特色化入試の導入など理念は分かりますが，公平性の担保は難しいと感じられる内容でした。

入試選抜は，不合格者が納得できる内容で，より単純化することが理想と感じています。複雑化することに何の意味もないと感じるからです。 調査書の単純化が日程を2日にし，面接や特色化を組み入れることは，推薦入試の面接の実施で凝りていると思うのですが

あの暑かった夏が嘘だったように，急速に冷え込んできた今日この頃です。関東では，インフルエンザやコロナの流行の兆しが囁かれております。受験生の皆さんが，健康で受験期を乗り越えられますように心から念じています。

資料①

令和６年10月31日
埼玉県教育局文教政策室

① 高等学校等進学希望者の割合は97.2%で、前年同期より0.6ポイント上昇しました。（下表２行目）
　また、進学希望校未定者を合わせた高等学校等進学希望者総数の割合は 99.0%で、前年同期より0.1ポイント上昇しました。（下表19行目）
② 全日制高校への進学希望者の割合は88.4%で、前年同期より0.1ポイント低下しました。（下表３行目）
③ 通信制高校への進学希望者の割合は 5.3%で、前年同期より0.7ポイント上昇しました。（下表10行目）
④ 就職等希望者の割合は0.2%で、前年同期と同率でした。（下表14行目）

○令和６年10月１日現在の進路希望状況

	区分	令和6年10月1日現在		前年同期		前年同期との比較	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1	中学校等卒業予定者数	62,531 人	100.0 %	62,714 人	100.0 %	△183 人	
2	高等学校等進学希望者	60,775 人	97.2 %	60,557 人	96.6 %	218 人	0.6P
3	全日制高等学校	55,293 人	88.4 %	55,478 人	88.5 %	△185 人	△ 0.1P
4	県内合計	51,559 人	82.5 %	51,772 人	82.6 %	△213 人	△ 0.1P
5	国立	193 人	0.3 %	292 人	0.5 %	△99 人	△ 0.2P
6	公立	41,284 人	66.0 %	41,598 人	66.3 %	△314 人	△ 0.3P
7	私立	10,082 人	16.1 %	9,882 人	15.8 %	200 人	0.3P
8	県外合計	3,734 人	6.0 %	3,706 人	5.9 %	28 人	0.1P
9	定時制高等学校	797 人	1.3 %	821 人	1.3 %	△24 人	0.0P
10	通信制高等学校	3,285 人	5.3 %	2,908 人	4.6 %	377 人	0.7P
11	高専・中等教育・別科	139 人	0.2 %	130 人	0.2 %	9 人	0.0P
12	特別支援学校	1,261 人	2.0 %	1,220 人	1.9 %	41 人	0.1P
13	専修学校等進学・入学希望者	112 人	0.2 %	132 人	0.2 %	△20 人	0.0P
14	就職等希望者	112 人	0.2 %	139 人	0.2 %	△27 人	0.0P
15	その他の者	1,532 人	2.4 %	1,886 人	3.0 %	△354 人	△ 0.6P
16	進学希望校未定者	1,125 人	1.8 %	1,493 人	2.4 %	△368 人	△ 0.6P
17	進路未定者	309 人	0.5 %	307 人	0.5 %	2 人	0.0P
18	上記以外の者	98 人	0.2 %	86 人	0.1 %	12 人	0.1P
19	再掲 高等学校等進学希望者＋進学希望校未定者	61,900 人	99.0 %	62,050 人	98.9 %	△150 人	0.1P
20	再掲 進学・入学希望者のうち併せて就職を希望する者	26 人	0.0 %	13 人	0.0 %	13 人	0.0P

資料②

令和6年 10 月 1 日現在中学3年生の進路希望調査

10月1日現在の県内私立高校(全日制)の進学希望者の今年度, 前年度との比較です。
新聞発表と併せてご参照ください。注)併設附属中からの希望者を含みます。

私立【令和6年 10 月1日】				中学在籍				私立【令和5年 10 月1日】				中学在籍
区分	進学希望者			5 月 1 日	前年度比較			区分	進学希望者			5 月 1 日
学校名	男	女	計	計	男	女	計	学校名	男	女	計	計
聖望学園	89	76	165	63	38	11	49	聖望学園	51	65	116	32
細田学園	96	94	190	59	11	29	40	細田学園	85	65	150	30
浦和麗明	76	99	175		3	22	25	浦和麗明	73	77	150	
淑徳与野		231	231	123	0	11	11	淑徳与野		220	220	125
慶應義塾志木	149		149		28	0	28	慶應義塾志木	121		121	
山村国際	77	77	154		−2	−14	−16	山村国際	79	91	170	
本庄第一	106	79	185	34	−2	0	−2	本庄第一	108	79	187	48
正智深谷	131	65	196		29	−17	12	正智深谷	102	82	184	
大宮開成	135	121	256	137	−40	−33	−73	大宮開成	175	154	329	145
叡明	118	161	279		−31	−27	−58	叡明	149	188	337	
山村学園	102	120	222		20	8	28	山村学園	82	112	194	
本庄東	118	93	211	71	−6	−3	−9	本庄東	124	96	220	79
立教新座	297		297	200	11	0	11	立教新座	286		286	203
武蔵越生	118	65	183		−28	8	−20	武蔵越生	146	57	203	
狭山ヶ丘	118	71	189	54	30	31	61	狭山ヶ丘	88	40	128	50
武南	145	114	259	33	3	7	10	武南	142	107	249	50
東京成徳大深谷	62	76	138	16	−21	−1	−22	東京成徳大深谷	83	77	160	15
東邦音大附東邦第二	5	11	16		−2	−1	−3	東邦音大附東邦第二	7	12	19	
浦和実業学園	231	208	439	63	−6	63	57	浦和実業学園	237	145	382	59
星野	152	292	444	162	2	27	29	星野	150	265	415	202
浦和明の星女子		171	171	173	0	3	3	浦和明の星女子		168	168	171
大妻嵐山		80	80	44	0	−18	−18	大妻嵐山		98	98	59
浦和ルーテル学院	24	52	76	66	−1	0	−1	浦和ルーテル学院	25	52	77	69
城西大学付属川越	178		178	99	25	0	25	城西大学付属川越	153		153	74
埼玉栄	312	246	558	110	15	−21	−6	埼玉栄	297	267	564	113
武蔵野音楽大附		5	5		−3	0	−3	武蔵野音楽大附	3	5	8	
栄東	193	162	355	323	7	28	35	栄東	186	134	320	280
浦和学院	186	148	334		7	−53	−46	浦和学院	179	201	380	
秀明	46	23	69	65	0	0	0	秀明	46	23	69	63
昌平	145	132	277	116	−1	17	16	昌平	146	115	261	107
獨協埼玉	135	132	267	176	2	−7	−5	獨協埼玉	133	139	272	173
春日部共栄	144	110	254	125	−6	−5	−11	春日部共栄	150	115	265	81
城北埼玉	128		128	106	−22	0	−22	城北埼玉	150		150	140
西武台	124	73	197	47	−7	−43	−50	西武台	131	116	247	46
秀明英光	87	37	124		−8	12	4	秀明英光	95	25	120	
西武学園文理	257	192	449	90	94	86	180	西武学園文理	163	106	269	102
秋草学園		105	105		0	−2	−2	秋草学園		107	107	
早稲田大学本庄	159	125	284		16	−19	−3	早稲田大学本庄	143	144	287	

花咲徳栄	109	103	212		−31	−8	−39	花咲徳栄	140	111	251	
開智	229	168	397	331	−24	3	−21	開智	253	165	418	374
開智未来	58	46	104	85	3	−6	−3	開智未来	55	52	107	86
川越東	207		207		43	0	43	川越東	164		164	
埼玉平成	90	39	129	7	6	2	8	埼玉平成	84	37	121	10
東京農業大学第三	200	84	284	59	−2	−10	−12	東京農業大学第三	202	94	296	67
自由の森学園	82	66	148	93	14	−9	5	自由の森学園	68	75	143	95
東野	44	23	67		0	−11	−11	東野	44	34	78	
国際学院	62	51	113	19	2	18	20	国際学院	60	33	93	11
栄北	79	53	132		−10	−34	−44	栄北	89	87	176	
私立計	5603	4479	10082	3149	156	44	200	私立計	5447	4435	9882	3159
筑波大附属坂戸	63	130	193		−63	−36	−99	筑波大附属坂戸	126	166	292	

3　全日制高等学校への進学希望状況

○ 全日制高校への進学希望者は 55,293 人で、前年同期より 185 人減少しました。
○ 全日制高等学校進学希望者のうち、県内の高校への進学希望者の割合は 93.2%で、前年同期より 0.1 ポイント低下しました。県外の高校への進学希望者の割合は 6.8%で、前年同期より 0.1 ポイント上昇しました。

区　分	令和6年10月1日現在		前年同期		前年同期との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全日制高等学校希望者	55,293 人	100.0 %	55,478 人	100.0 %	△185 人	
県　内	51,559 人	93.2 %	51,772 人	93.3 %	△213 人	△ 0.1P
国　立	193 人	0.3 %	292 人	0.5 %	△99 人	△ 0.2P
公　立	41,284 人	74.7 %	41,598 人	75.0 %	△314 人	△ 0.3P
私　立	10,082 人	18.2 %	9,882 人	17.8 %	200 人	0.4P
県　外	3,734 人	6.8 %	3,706 人	6.7 %	28 人	0.1P
国　立	127 人	0.2 %	119 人	0.2 %	8 人	0.0P
公　立	377 人	0.7 %	378 人	0.7 %	△1 人	0.0P
私　立	3,230 人	5.8 %	3,209 人	5.8 %	21 人	0.0P

資料③

令和６年10月11日　埼玉県教育局指導課

埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項（暫定版）からの抜粋

本抜粋は、令和7年度入試と異なる部分を抜き出したものです。

学力検査

⑴ 志願者は、令和9年2月○日（○）に行われる学力検査を受検しなければならない。

⑵ 急病その他やむを得ない事情により学力検査を受検できない事由が明らかになった時点で、追 検査を受検する場合、出身中学校長は「追検査受検願」（様式○）を○月○日（○）正午までに 志願先高等学校長に提出すること。（詳細については、「12 追検査」による。） 追検査を受検しない場合、出身中学校長はその事由を証明する書類（様式自由）を志願先高等 学校長に提出すること。

⑶ 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語の5教科で実施し、中学校学習指導要領に基づ いて出題する。英語にはリスニングテストを含む。 なお、〔別表○〕（令和8年5月（予定）に公表する。）にある高等学校は、数学及び英語の 学力検査において「学校選択問題」を実施する。

⑷ 学力検査会場は、志願先高等学校とする。

面接

1 実施日 ⑴ 令和9年○月○日（○）に実施する。開始時刻は、原則として午前9時とする。 ただし、「追検査受検願」（様式○）を提出した志願者は、受検できない。

⑵ 定時制の課程における特別募集及び秋季募集については、別に定める。

⑶ 追検査での面接は実施しない。 ただし、不登校の生徒などを対象とした特別な選抜、帰国生徒特別選抜による募集、外国人特 別選抜による募集及び定時制の課程における特別募集において追検査を実施した場合は、令和9 年○月○日（○）の追検査終了後に実施する。

2 方法 個人面接又は集団面接とする。 ただし、不登校の生徒などを対象とした特別な選抜、帰国生徒特別選抜による募集、外国人特別 選抜による募集及び定時制の課程における特別募集においては、個人面接とする。

3 内容 ⑴ 志願者は、これまでの自分の体験を振り返り、力を注いだことや努力をしたこと、また高等学 校入学後や将来取り組んでみたいこと、自己PRなどについて、自己評価資料（様式○）を参考 に、自らの言葉で表現する。

⑵ 高等学校長は、学科、コース等の特色に応じて、質問の内容を定める。

特色検査

1 実施校 各高等学校は、志願者に対して、学科、コース等の特色に応じて、選抜要領4（112ページ）によ り、実技検査又は作文（小論文）の特色検査を実施することができる。

2 実施日 ⑴ 令和9年○月○日（○）又は○月○日（○）に実施する。集合時刻は、原則として午前8時45 分とする。 ただし、「追検査受検願」（様式○）を提出した志願者は、受検できない。

⑵ 追検査での特色検査は実施しない。

3 内容等 ⑴ 実技検査 ア 実技検査を実施する学科、コース等〔別表○〕（令和8年5月（予定）に公表する。）の志 願者は、実技検査を受けなければならない。 イ 内容等は、令和8年5月（予定）に公表する。

⑵ 作文(小論文) ア 作文(小論文)を実施する学科、コース等〔別表〇〕(令和8年5月(予定)に公表す る。)の志願者は、作文(小論文)を受けなければならない。 イ 内容等は、次のとおりとする。
(ア) 当該高等学校長は、中学校学習指導要領に示された内容の範囲から、学科、コース等の特 色等に応じて、作文(小論文)の内容を定める。
(イ) 時間は、原則として30分～60分とする。
(ウ) 字数は、原則として600字～1,000字とする。

不登校の生徒などを対象とした特別な選抜
1 募集人員等 一般募集に併せて実施する。 募集人員は定めず、選抜要領に従って各学校の実情に応じて選抜し、入学許可候補者を決定する。 ただし、この選抜による入学許可候補者数は、募集人員に含まれる。
2 実施する高等学校 原則として、全日制の課程及び定時制の課程の全ての学校、学科等で実施する。

自己評価資料
作成に当たっての注意
ア 志願者が自筆又はコンピューターにより作成する。自筆の場合は、黒ペン又は黒ボールペン などの保存性の高い筆記具を用い、鮮明に記入する。
イ コピーしたものを提出し、本書は志願者が保管する。
ウ 自己評価資料(様式〇、33ページ)の1の項目は、これまでの自分の体験を振り返り、力を 注いだことや努力をしたこと、高等学校入学後や将来取り組んでみたいこと、自己PRなどに ついて、志願者が自ら考え、記載する。
エ 自己評価資料(様式〇、33ページ)の2の項目は、志願先高等学校の「選抜実施内容」の面接の欄に学校独自の項目を設定している場合は、志願者が 内に転記した上で、 その項目についても、自ら考え、記載する。 志願先高等学校が学校独自項目を定めていない場合は、空欄のままとする。
⑵ 志願先変更をする場合は、新たに志願する高等学校長に改めて「自己評価資料」を提出すること。

ここから分かる事
1. 数学・英語の選択問題の継続
2. 面接は，筆記試験と日程が異なる事
3. 個人面接と集団面接が学校によって異なる事
4. 特色検査は，筆記試験と日程が異なる事。面接とも別日程になる可能性もある。
5. 不登校の生徒などを対象とした特別な選抜の継続。全校で実施する。
6. 高校によって自己評価資料に独自項目を設定する学校がある。
7. 自己評価資料はコンピュータによる作成も可とする事。

資料④

東京都　公立小学校卒業者の進路状況推移　令和６年４月

地区名	卒業者			都内中学校等への進学者						
				計	公立	国立	私立			私立割合
	計	男	女	計	計	計	計	男	女	全体
4	98 518	51 083	47 435	96 575	76 611	443	19 521	9537	9 984	19.8
5	97 572	50 553	47 019	95 173	75 103	415	19 655	9622	10 033	20.1
千代田区	484	256	228	461	259	5	197	104	93	40.7
中央区	1 298	661	637	1 175	612	13	550	259	291	42.4
港区	1 630	870	760	1 513	767	15	731	341	390	44.8
新宿区	1 557	764	793	1 526	940	12	574	273	301	36.9
文京区	1 618	861	757	1 580	779	21	780	398	382	48.2
台東区	1 143	568	575	1 108	764	2	342	154	188	29.9
墨田区	1 647	858	789	1 614	1 312	2	300	143	157	18.2
江東区	4 003	2 086	1 917	3 844	2 766	21	1 057	485	572	26.4
品川区	2 136	1 105	1 031	2 078	1 319	10	749	366	383	35.1
目黒区	1 636	898	738	1 582	923	13	646	344	302	39.5
大田区	4 892	2 547	2 345	4 801	3 631	11	1 159	596	563	23.7
世田谷区	6 375	3 386	2 989	6 150	3 752	53	2 345	1145	1 200	36.8
渋谷区	1 131	597	534	1 114	637	14	463	236	227	40.9
中野区	1 679	872	807	1 651	1 224	15	412	210	202	24.5
杉並区	3 602	1 870	1 732	3 543	2 363	34	1 146	547	599	31.8
豊島区	1 454	751	703	1 419	880	17	522	278	244	35.9
北区	2 158	1 126	1 032	2 106	1 549	15	542	262	280	25.1
荒川区	1 544	780	764	1 484	1 176	7	301	137	164	19.5
板橋区	3 868	2 030	1 838	3 812	3 121	23	668	336	332	17.3
練馬区	5 404	2 802	2 602	5 215	4 267	20	928	449	479	17.2
足立区	5 222	2 652	2 570	5 136	4 472	10	654	331	323	12.5
葛飾区	3 388	1 760	1 628	3 271	2 851	4	416	203	213	12.3
江戸川区	5 496	2 814	2 682	5 405	4 754	10	641	303	338	11.7
八王子市	4 313	2 238	2 075	4 280	3 959	5	316	137	179	7.3
立川市	1 424	728	696	1 407	1 281	1	125	65	60	8.8
武蔵野市	1 041	539	502	1 025	676	11	338	166	172	32.5
三鷹市	1 598	834	764	1 569	1 241	6	322	141	181	20.2
青梅市	951	494	457	935	898	―	37	23	14	3.9
府中市	2 210	1 126	1 084	2 166	1 945	2	219	106	113	9.9
昭島市	924	451	473	907	846	―	61	27	34	6.6
調布市	1 855	948	907	1 824	1 475	5	344	168	176	18.5
町田市	3 539	1 844	1 695	3 366	3 175	1	190	88	102	5.4
小金井市	921	438	483	913	762	3	148	69	79	16.1

小平市	1 709	898	811	1 681	1 500	6	175	95	80	10.2
日野市	1 544	791	753	1 517	1 427	2	88	45	43	5.7
東村山市	1 256	665	591	1 217	1 133	6	78	43	35	6.2
国分寺市	973	526	447	954	802	5	147	81	66	15.1
国立市	530	273	257	527	448	―	79	45	34	14.9
福生市	388	198	190	385	361	―	24	9	15	6.2
狛江市	634	315	319	619	500	4	115	54	61	18.1
東大和市	717	353	364	713	671	―	42	15	27	5.9
清瀬市	600	297	303	590	556	2	32	18	14	5.3
東久留米市	881	442	439	869	810	1	58	25	33	6.6
武蔵村山市	676	349	327	669	638	―	31	21	10	4.6
多摩市	1 135	588	547	1 127	984	―	143	76	67	12.6
稲城市	847	450	397	833	714	―	119	64	55	14.0
羽村市	474	240	234	468	444	―	24	11	13	5.1
あきる野市	706	389	317	701	662	1	38	23	15	5.4
西東京市	1 704	871	833	1 676	1 448	7	221	98	123	13.0
瑞穂町	243	124	119	241	233	―	8	3	5	3.3
日の出町	182	104	78	182	174	―	8	4	4	4.4
檜原村	7	3	4	7	7	―	―	―	―	
奥多摩町	24	18	6	22	20	―	2	2	―	8.3
大島町	54	33	21	54	54	―	―	―	―	
利島村	2	2	―	2	2	―	―	―	―	
新島村	27	11	16	26	26	―	―	―	―	
神津島村	28	15	13	27	27	―	―	―	―	
三宅村	10	3	7	10	10	―	―	―	―	
御蔵島村	1	―	1	1	1	―	―	―	―	
八丈町	48	25	23	48	48	―	―	―	―	
青ヶ島村	2	1	1	2	2	―	―	―	―	
小笠原村	29	15	14	25	25	―	―	―	―	

資料⑤
令和６年（2023）10月24日
東京都教育庁

令和６年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等について決定しましたので、お知らせします。**1 高等学校**

1 全日制課程

(1) 募集概要

区分	令和７年度	令和６年度	増△減	備考
学校数	167 校	167 校	0 校	募集停止 1 校 △5 学級 募集開始 1 校 5 学級 学級増 3 校 3 学級 学級減 11 校 △11 学級 計 △8 学級
学級数	1,031 学級	1,039 学級	△8 学級	
募集人員	40,315 人	40,635 人	△320 人	

(2) 学科改編に伴う募集停止及び募集開始

「Society5.0 を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト Next Kogyo START Project」に基づく学科の改編に伴い、次の高等学校の各学科について募集を停止し、新たに募集の開始を行う。

ア 募集停止(1 校 △5 学級)

学校名	科名	令和７年度	令和６年度	増△減
六郷工科	プロダクト工学科	―	1 学級	△1 学級
	オートモビル工学科	―	1 学級	△1 学級
	システム工学科	―	1 学級	△1 学級
	デザイン工学科	―	1 学級	△1 学級
	デュアルシステム科	―	1 学級	△1 学級
合計 1 校				△5 学級

イ 募集開始(1 校 5 学級)

学校名	科名	令和７年度	令和６年度	増△減
六郷工科	ものづくり工学科	5 学級	―	5 学級
合計 1 校				5 学級

(3) 募集学級の増減

都内公立中学校卒業予定者数及び学校施設の状況等を踏まえ、次の高等学校の各学科について募集学級の増減を行う。

ア 学級増(3 校 3 学級)

学校名	科名	令和７年度	令和６年度	増△減

竹早	普通科	7 学級	6 学級	1 学級
広尾	普通科	6 学級	5 学級	1 学級
府中	普通科	8 学級	7 学級	1 学級
合計 3 校				3 学級

イ 学級減(11 校 △11 学級)

学校名	科名	令和 7 年度	令和 6 年度	増△減
城東	普通科	8 学級	9 学級	△1 学級
東	普通科	6 学級	7 学級	△1 学級
駒場	普通科	7 学級	8 学級	△1 学級
大森	普通科	4 学級	5 学級	△1 学級
竹台	普通科	6 学級	7 学級	△1 学級
大山	普通科	5 学級	6 学級	△1 学級
足立	普通科	7 学級	8 学級	△1 学級
松が谷	普通科	6 学級	7 学級	△1 学級
小平	普通科	5 学級	6 学級	△1 学級
狛江	普通科	8 学級	9 学級	△1 学級
羽村	普通科	6 学級	7 学級	△1 学級
合計 11 校				△11 学級